

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時：令和7年6月19日（木）13:50～15:40

場所：奥出雲町立仁多中学校 美術室

指導者：古代文化センター職員
仁多中学校教諭

1. 単元名 「土器作り体験と地元から出土した土器に触れる」

2. ねらい
- ・土器作りの体験を通じて、古代の人々の生活や文化への理解を深める。
 - ・奥出雲町から出土した土器に触れ、歴史学習に対する学習意欲を高めるとともに、ふるさとを愛する心を育てる。

3. 展開

時刻	生徒の学習内容〈センター職員の動き〉	教師の支援等	準備物
13:50	<ul style="list-style-type: none">・号令の後、センター職員の先生の紹介を聞く。〈教師による紹介に続いて職員の自己紹介〉・オリエンテーション・尾原ダム建設現場内の遺跡から出土した本物の土器に触れる。〈説明〉	<ul style="list-style-type: none">・センター職員の今福さんを紹介する。・学習内容を説明し、学習のめあてを提示する。・関心を持っているの話を聞いたり、出土品を観察したりできるように働きかける。	【学校】 <ul style="list-style-type: none">・パソコン・プロジェクター・スクリーン・作業用テーブル 【埋文センター】 <ul style="list-style-type: none">・USB データ・土器作り用の粘土(焼かずに固まるもの)・ゴム手袋・遺物（尾原ダム工事内の遺跡から出土した土器)
14:20	<ul style="list-style-type: none">・休憩		
14:30	<ul style="list-style-type: none">・土器作りの説明を聞き、土器を製作する。〈説明〉	<ul style="list-style-type: none">・製作のようすを見ながら、適宜作業の補助を行う。	
15:30	<ul style="list-style-type: none">・アンケート記入・質問、感想・センター職員の先生のお話を聞く。〈職員のお話〉		
15:40	<ul style="list-style-type: none">・号令		

4. 留意事項
- ・特殊な粘土を扱うので、素手で作業をすることのないように気をつける。